※令和５年度以降入学生用

学校番号	３２１

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編言語文化　（数研出版）						
副教材等	高校生の古典文法　（京都書房） ＬＴ古文１　（浜島書店） 常用国語便覧　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、考えを伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・有名な古文と漢文の作品、近現代の作品の音読や、本文を書き写すことによって親しみ、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読み、意味の分からない語句は辞書で調べておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・教材の選択に際しては、生徒が興味を抱くような教材を選び、語彙を増やし、正確な漢字の読みと書き取りの力をつけていく。日本文化の基礎を作っている考え方や感じ方にふれていく。
・以上のように、文章の精読によって、豊かな言語感覚と多様な価値観を養い、お互いの意見や感想を交換し批評する力（伝え合う力）を身につけ、他者との円滑なコミュニケーションを図ることのできる力を養っていくことを到達目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

※令和５年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文の世界を楽しむ ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「検非違使忠明」 「説話集を読む楽しみ」 歴史的仮名遣い、品詞	a：古典特有の表現を理解している b［　読　］：内容や構成を理解している c：物語の主題を理解して、自分の考えを述べている。	小テスト	定期考査	ワークシート
	現代にも生きる教え ［教材］ 『徒然草』 「高名の木登り」 「ある人、弓射ることを習ふに」 動詞の種類と活用形	a：古文の世界に親しんでいる。 b［　読　］：作品の背景も読み取ることができる c：暗唱に積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	暗唱テスト
二学期	和歌による心の交流 ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」 「とりあえず、男がいた」 助動詞	a：和歌を理解して親しんでいる。 b［　読　］：主人公の心情を読み取る。 c：主人公のモデルについて知ろうとする。	定期考査	グループワーク	ワークシート
	受け継がれる古典 ［教材］ 『羅生門』 『今昔物語集』巻二十九第十八	a：古文とのつながりを意識して読む。 b［　書　］：主人公の心情を読み取る。 c：『今昔物語集』との共通点・相違点を考えようとしている。	定期考査	グループワーク	ワークシート
三学期	日本語の中に生きる漢文 ［教材］ 「訓読のきまり」 「格言」	a：漢文のきまりを理解している。 b［　読　］：音読を通して、内容を理解している。 c：暗唱に積極的に取り組んでいる。	ワークシート	音読	暗唱テスト
	漢詩を味わう ［教材］ 王翰「涼州詞」 杜甫「春望」	a：作品の背景を理解している。 b［　読　］：作品の考え方などを理解している。 c：さらに深めて作者の意図を理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

年間の各領域時間数

・書くこと　　…　（　１０　）時間

※令和５年度以降入学生用

・読むこと　　…　　（　６０　）時間